

受賞者代表挨拶

僭越ではありますが、本日の受賞の栄に浴します受賞者を代表致しまして、一言、御礼を申し上げます。

私共は、学術・芸術教育・文化・スポーツの、いわば創造の世界を旅してきた者です。私共のこのような創造の一つ一つがもし、社会への貢献になったとすれば、とても嬉しいことでもあります。またそのような機会を与えていただきました皆様に感謝したいと思いません。

私事で恐縮ですが、振り返って思い出すことのできることは、小学生の時に初めて行った気象観測や、若手研究者として光伝達理論に関する小さな発見をした時に感じた何かです。それは、小さな子供の目覚めの感覚にも似た、世界に対する驚きと新鮮さでした。私共は、様々な困難と模索を経て、この創造の世界の理(り)の美しさに触れることができたと思います。これからの私共の使命は、このような鮮烈な経験を若い人々に伝えることだと思っています。

将来を見通すことが難しい今の世の中は、必ずしもこのような創造の世界に挑戦する若者の住みやすい場所ではありません。しかし、それは逆に、老木に芽吹く新緑や、断崖に咲く小さな草花のように、旧態からの飛躍や一新によって、新たな息吹きが生まれる時代であるかも知れません。私共に期待されていることは、これらの若い芽を育てる老木(若手の方々もいらしてすみません)としての役割であり、また一緒に挑戦を続けてゆくことだと思っております。そして、この国がこのような挑戦者を多く育む場所であり続けるよう願っています。

結びにあたりまして、本日の受賞に際しましてご尽力いただきました皆様に、心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。

平成二十九年五月十六日

受賞者代表 中島映至